

行事報告 『運動会』

小学校のグラウンドで1部と2部に分けて運動会が開催されました。にじ組・つき組・ほし組は、初めての場所での運動会でしたが、全クラス広い所で緊張しながらものびのびと笑顔で演技する姿を見ることができました。新型コロナウイルス対策へのご理解・ご協力と温かいご声援をありがとうございました。

にじ組は、親子でこのこになって、一緒に♪きのこのうた♪を踊りました。



ほし組・そら組は最後に、親子で“にんげんっていいな”を踊りました。



つき組は『さるかにがっせん』友だちと力を合わせて大きな柿やおにぎりを転がしました。

11月の予定

- 2日(火) そら組デイキャンプ
- 5日(金) ほし組お出かけ保育
- 10日(水) 避難訓練
- 12日(金) 健脚活動
- 18日(木) 歯科検診

12月の予定

- 6日(月) 避難訓練
- 11日(土) 発表会(ほし組・そら組)
- 17日(金) 誕生会
- 29日(水)～1/3(月) 休園

あすなろ オリンピック ～今日のベストショット～

緑道でお花見つけたよ

手形をべたっ！

大きないちょうの木
みんなで手を繋いで見上げてみたよ

ゆき組

にじ組

つき組

ほし組(れんげ)

こんなに高くなったよ(カブラ)

事務室

園で実った“かりん”だよ



493号

令和3年11月1日発行

社会福祉法人岡山こども協会 あすなろ保育園

〒709-0802

岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19

TEL (086) 955-5665



QRコードもご利用ください。

<https://asunaro.okayamakodomokyoukai.jp>

検索

『短いからこそ最高のこども時代を』

私はこどもたちに多くの経験をしてもらいたいと思います。しかし日頃からこどもたちを守る為に多くのルールを設けていることも事実です。こどもたちの身の安全を第一に、でも多くの事を経験してもらいたい、という思いで接しています。こどもたちは好奇心旺盛でやってみたいことがいっぱいあって、話す内容も自分が経験した出来事が最大のニュースになります。笑えることも泣けることも言葉にして相手に伝えることはとても素敵な行為です。口に出したことを聞いてもらえる、その過程はこどもたちが安心感を得て、活動への意欲が高まるきっかけになるでしょう。保護者やともだち同士での話を通じて自分の経験と他者の経験がリンクしたときに得る共感もまた得難い経験になります。

先日年長のAさんが小さいクラスのBさんに縄跳びを教えていました。Bさんは不安そうな表情をしていましたが、Aさんが「こうするとまいくで」「一緒に跳ぼう」と一生懸命教えてくれると嬉しそうに縄跳びを使っていました。危ないかな？と思いましたが、楽しんでいる二人を見守ることにしました。人は転んだことがあるから、転ばない歩き方を学びます。失敗を恐れず自由に好きなことに挑戦し、刺激を受けて感性を豊かにしてほしいです。成功も失敗も含めた「経験」はこどもたちにとって替えの利かない、どこへだって持っていける最高の財産になると思います。

事務員 小林 真依子



つぶやきコーナー

3歳児 つき組



魚が給食に出た日のこと、「ねーねー先生の魚はなんで大きいの?」と。確かにこどもたちの魚より少し大きめのものが配膳されています。「体が大きいから、これくらい食べないとエネルギーが足りないからかな」と答えると「そうかあ」と納得した様子でした。

次の日の給食の時間「僕も、いっぱい食べて大きくなる。そして大きな魚を食べる」と、もいもい食べるAさん。

将来の夢は、大きな魚を食べること。かわいい夢です。

生活 ほし組(たんぽぽ)

言葉による伝え合い



—こどもの姿—
5つのグループが、曜日ごとに交代で当番活動をしています。帰りのあつまりでは、こども同士で「今日の当番は〇〇グループだよ」「△△グループさん、帳面配りをしよう」などと声をかけ合いながら、率先して帳面配りをする姿が見られるようになっていきます。

—保育者の思い—
当番活動を通して、みんなのために何かをする喜びを感じたり、友だちと協力して活動したりする経験ができるようにしています。また同じ活動を繰り返し行い、伝える中で、こどもが生活の流れを掴み、自ら考えて行動できるようにしています。これからも、こども同士で伝え合いながら生活を進めていくことを大切にしていきます。

あそび そら組

協働性

道徳性・規範意識の芽生え

言葉による伝え合い



—保育者の思い—

—こどもの姿—
3チーム対抗のリレーをしています。始めた頃は“自分が速ければいい”というような気持ちでいたこどもたちでした。しかし、回数を重ねるうちに“チーム”を意識するようになりました。「手を振ったら速く走れるよ」と同じチームの友だちに伝えたり、走る順番が来たら「出て」とコーナーに送り出したりと、友だちとの関わりも充実してきました。

リレーなので勝ち負けが生まれます。走り終わった後は「1位はどこ？」とこどもたちも結果をすごく気にします。もちろん、結果も大切ですが、どれだけ自分の力を出せたか、チームのことを考えて動けるかということも大事にして欲しいと感じます。

食事 はな組

自立心



—こどもの姿—

自分で食べたい気持ちがでてきて、手づかみやスプーンで食べたり、器やコップに手を伸ばしたりしています。サイコロ状・スティック状のものをしっかりとつまみ、口に運んでいます。つかみづらいものもどう手指を動かせば持てるか考えているこどもたちです。

—保育者の思い—

“自分で食べたい”気持ちを大切にしながら、時には手を添えたり、サイズや形状を変えたりすることで“自分で食べられた”と感じられるようにしています。また、職員が目の前で実際に口を動かして、どうやって口を動かして噛むのかを伝えるようにしています。

※ ←この部分には、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を載せています。

10の姿とは…①健康な心と体 ②自立心 ③協働性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 です。

工事現場の今

～新園舎ができるまでの道のり～

9月下旬に旧園舎はすべて解体され何も無い状態でしたが、10月上旬には、土が運ばれ土台作りが始まっています。



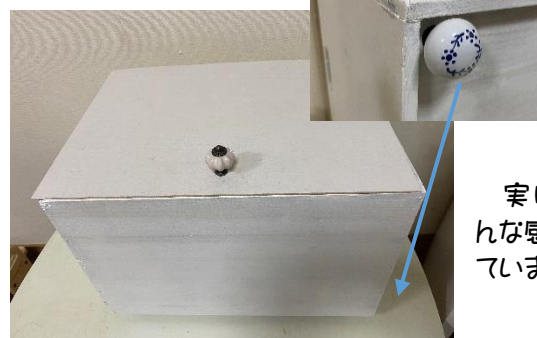
たくさんの土が大型車両によって運ばれました。



新園舎の砂場部分には、砂が入れられ、階段や囲いができています。どんな砂場になるのか楽しみです。

コロナ禍でも楽しめる

簡単リメイク



実は底はこんな感じになっています。

私は元々使っていたものや100均にあるものを組み合わせてリメイクするのが好きで、写真の物も長年使っていた木のボックスにベニヤのフタをつけノブを取付け、ペンキを塗ってリメイクしたペット用品 box です。お気に入り底の脚としてノブを取り付けたところ。こどもと一緒に玩具ボックス作りなれていかがですか。

お家でできるこんなあそび

意外と知らない

再利用(布団タンス)



新しくなったあすなろ保育園の園舎ではありますが、旧園舎からまだ大事に使い続けているものもたくさんあります。その一つがこの「布団タンス」です。布団を入れるという役目を終えて、今は、こどもたちの憩いの場。ままごとハウスとして大活躍中です。

保育園の裏側